



# 梅永雄二 BWAP2 講習

人事部採用担当者様（障害者雇用に携わる方）、特例子会社、  
就労移行支援事業所、就労継続支援事業所等 発達障害の方の雇用に関わる皆様

就労人口の減少、法定雇用率の引き上げが続く中、発達障害の方の就労に向けられる視線はますます熱くなってきています。高学歴で高い知識を有する発達障害の人の能力を職場に活かしていきませんか。

アセスメントで課題を明確化することにより、本人の適応能力を高めていくことはもとより、本人と職場との間での工夫（合理的配慮）を明確化していくことができます。工夫次第で、より高い次元で発達障害の方の能力を職場に活用することが期待できます。

講師は障害者職業センターで現行のジョブコーチ制度の礎を築き、自閉症の方の就労支援分野を開拓・牽引して来られた梅永雄二 早稲田大学教授。本アセスメントツールBWAP2の翻訳・事例協力に携わったメンバーも交え、現場での実践事例を多数ご紹介しながらワークショップを行い、実際にアセスメントを取り活用するまでの知識と技術を伝授します。

早稲田大学  
教育・総合科学学術院  
教育心理学専修教授  
博士（教育学）  
梅永 雄二先生

就労アセスメント  
ツールで  
発達障害の人の能力を  
最大限に活かす！

# 現場での実践事例も多数ご紹介！

## 参加者の声

- 今後、対象領域のアセスメントツールとしてスタンダードになるのではと感じさせる、たいへん興味深い内容でした。
- BWAP2が、近年注目度の高い発達障がいのある方の支援に有効であり、今後、それを活用した支援方法が標準形になるのではと感じた。アセスメントによるマッチング度を高め、障がいのある方が活躍できる機会を作り出していく流れが広まっていくといいなと思いました。
- 梅永先生の書籍を拝見したあと、今回のイベントを知りました。オンラインでお話を伺えて、とても勉強になりました。Q&Aで質問できたことも、学習の活性化に役立ちました。
- 環境との相互作用でアセスメントが重要な点を再認識できました。アセスメントする側の能力が必要と感じたため、研鑽して参りたいと思いました。
- アセスメントをとる目的は何なのか、対象の方の生き方をよりよくするためのツールなんだということを受講しながら考えることができました。本人や実習先、進路先の理解を深め、実践に生かしていけるような活用の仕方を考えていきたいと思います。
- とても充実した講習会でした。
- 高校で発達障害あるいは傾向のある生徒の支援を行っているのですが、出口支援を求められることも多かったため、とても多くのヒントをいただきました。学校現場でBWAP2を活用していければと思います。
- 発達障害のある方の「就労支援」に直結する内容のセミナーを受講でき大変勉強になりました。今後の仕事に活かしていきたいと思います。
- 就職におけるソフトスキルの重要性について改めて考える機会となった。またBWAPというツールがあることで、利用者と一緒に現在の状況を振り返る・今後どうすればよいかを一緒に考えることがやりやすくなるのではないかと感じた。

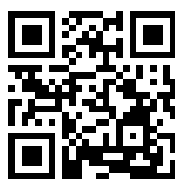
## 開催スケジュール

・2025年2月21日(金)

※お申込み受付中

お申込みはこちら⇒

<https://peatix.com/event/4149681>



一般社団法人 読み書き配慮

〒169-0072 東京都新宿区大久保3丁目14-4

毎日新聞社早稲田別館 5階

TEL:03-5937-3870

MAIL:[support@yomikaki.or.jp](mailto:support@yomikaki.or.jp)

ホームページ:<https://yomikaki.or.jp/>

